

BUDŌ

# NEWS

## 今月のニュース

### 令和5年鏡開き式・武道始め



出陣に先立ち、大將軍が関の声をあげる（鎧着初め・鏡開き式）

### 第50回全日本空手道選手権大会



女子・形で3連覇した大野ひかる



男子・形で初優勝した西山走

# 令和5年鏡開き式・武道始め



山谷えり子大將軍による鏡開き

## 新春に心を引き締め 武道の隆盛と発展を期す

日本武道館の新春恒例行事「令和5年鏡開き式・武道始め」が成人の日の1月9日、開催された。当日は晴天に恵まれ、武道関係者や武道愛好家など約1300名が集まった。開会式に続いて武道功労者表彰、鑑よろひ着初め・鏡開き式、武道9種目の模範演武が次々と行われた。締めくくりに武道始めでは、各道の参加者が大道場いっぱいにながって稽古に汗を流し、この一年の技量向上と精進を祈願した。

■開会式・日本武道協議会武道功労表彰式

定刻の正午、大太鼓の大音が鳴り響き、照明が一段と明るくなった。初めに吉川英夫日本武道館理事・事務局長が開会を宣言。国歌清聴の後、高村正彦日本武道館会長が挨拶に立った。

「年の始めに、心を新たに、『鏡開き式・武道始め』にご参加いただき、心から感謝申し上げます。日本の武道は礼に始まり礼に終わる、技法を修練する中で心と身体を鍛える、日本が世界に誇る伝統的運動文化であります。平成24年度に中学校





角田喜彦  
スポーツ庁次長



高村正彦  
日本武道館会長



吉川英夫  
日本武道館理事・事務局長

武道必修化が実現し、平成の時代に  
仏となる器が完成しました。これに  
魂を入れていくのが令和の時代であ  
ります。そのためにも武道関係者が  
一致団結していくことが重要であり  
ます。これからの武道のますますの  
発展と、皆様のご健勝を心からお祈  
りします」

続いて角田喜彦スポーツ庁次長が  
祝辞を述べた。

「武道は礼節を重んじ自らを律し、  
相手を尊重する態度を養うなど、豊  
かな人格を形成する世界に誇るべき  
我が国の伝統文化です。今日、武道  
が大人から子どもまで幅広い年齢層  
の人々に親しまれていることは誠に  
喜ばしいことであります。中学校の  
保健体育では武道を必修とし、学習  
指導要領で武道9種目を明記し、多  
様な武道に取り組めるようにしてい  
ます。全国の学校で子どもたちが武  
道のすばらしさを一層味わえる授業  
が行われるようにご支援、ご協力を  
よろしく願います。年頭を飾る  
この行事が今年一年の我が国の武道  
振興の大きな弾みとなることを、心  
から祈っています」

来賓紹介の後、日本武道協議会(武



開会式



整列する各道の模範演武者

道9団体と日本武道館で組織)の令  
和4年度武道功労者・武道優良団体  
の表彰式が行われ、高村正彦会長か  
ら功労者10名に表彰状と記念品、優  
良9団体に表彰状が授与された。

#### ■鎧着初め・鏡開き式

表彰後、館内の照明を落とし、「鎧  
着初め・鏡開き式」へと移った。再  
び照明が灯ると、鎌倉武士の軍装を

まとった勇壮な鎧武者たちが陣形を  
整えて出現し、観客を驚かせた。

今年は山谷えり子日本武道館常任  
理事が大將軍、真砂威全日本剣道連  
盟副会長と中野久夫日本甲冑武具  
研究保存会常務理事の両氏が副將軍  
に扮した。奉行役の菅野茂雄同保存  
会常務理事の指揮の下、儀式は進行  
した。



高村会長（前列中央）と表彰された武道功労者（前列）、武道優良団体代表者（後列）

【武道功労者】

- ▽柔道 吉田忠征（栃木県）
- ▽剣道 矢野博志（東京都）
- ▽弓道 中塚祥一郎（東京都）
- ▽相撲 樫原利明（東京都）
- ▽空手道 佐久本嗣男（沖縄県）
- ▽合気道 工藤泰助（徳島県）
- ▽少林拳法 鎌田 智（香川県）
- ▽なぎなた 吉井美恵子（東京都）
- ▽銃剣道 伊藤武人（大阪府）
- ▽日本武道 山谷えり子（東京都）

【武道優良団体】

- ▽柔道 天理大学柔道部
- ▽剣道 和歌山県剣道連盟
- ▽弓道 鳥取市弓道協会
- ▽相撲 新潟県相撲連盟
- ▽空手道 全日本空手道連盟近畿地区協議会

区協議会

- ▽合気道 三重県合気道連盟
- ▽少林拳法 大阪府少林寺拳法連盟
- ▽なぎなた 栃木県なぎなた連盟
- ▽銃剣道 新潟県立三条商業高等学校銃剣道部

※武道功労者の寄稿文は12～31ページに、武道優良団体の紹介は140・141ページに掲載。

まず前軍・後軍の侍大將が大將軍に着到状を読み上げて全軍到着を報告し、「三献の儀（出陣、凱旋などで行われる儀式）」が行われた。続いて大將軍が神前に進んで「誓いの詞」を奉読。武道の精神を発揮し、世界平和の実現と国家社会の発展に寄与することを誓った。

その後、大將軍は大道場中央に進み木槌で鏡餅を打ち砕き、副將軍が鏡樽を叩き割ると館内からは盛大な拍手が沸き起こった。

帰陣後、出陣に先立つて兜を着用した大將軍が「えい！ えい！」と力強く発声すると全軍が「おう！」と応じ、関の音が響き渡った。その後、太鼓を合図に、勇ましく進発し、場内を悠然と行進した。

■模範演武

模範演武に先立つて臼井日出男日本武道館理事長が壇上に立ち、来賓者に挨拶を述べた。

「年頭の武道始めとして、現代武道9種目による模範演武を行います。各道を代表する方々には、武道の真髄をご披露いただきますようお願い申し上げます。今年一年が充実したものととなりますよう祈念します」

模範演武は、弓道の「一丁的坐射礼」を皮切りに、相撲「基本動作と技・決まり手の説明」、剣道「全日本剣道連盟居合の12本の制定技のうち7本」、空手道「団体形・アーナンとその分解」、なぎなた「全日本なぎなたの形」、柔道「柔の形」、銃剣道「銃剣道の形、基本技、応用技、試合」、合気道「基本技の投げ技、固め技、応用技の短刀取り、自由技」と順に披露され、最後は少林寺拳法「女子団体演武・組演武」で締めくくられた。各道を代表する一流の演武に魅了された会場は、拍手で包まれた。

■武道始め（稽古会）

模範演武が終わると、各道の参加者が大道場いっぱい広がって「武道始め（稽古会）」が行われた。コロナ禍のため昨年と同様に2部制で時間をずらしての実施となった。第1部では柔道、空手道、銃剣道、少林寺拳法が、第2部では剣道、相撲、合気道、なぎなたの稽古が行われ、稽古会参加者約550名が約30分の稽古で汗を流した。

稽古終了後、大太鼓の音が大道場に鳴り響き、全ての行事が終了した。



# 鎧着初め・鏡開き式



照明が灯ると鎧に身を包んだ全軍が姿を現した



山谷えり子大將軍



着到状を読み上げる



三献の儀



真砂副將軍（右）と中野副將軍（左）による鏡割り



鏡開き



誓いの詞を奉読



山谷えり子大將軍率いる全軍が場内を左回りで行進

## 大將軍・副將軍役を務めて



山谷えり子  
日本武道館常任理事

「大將軍を務め上げた感想をお願いします。」

「日本国の<sup>いひさか</sup>弥栄と武道の振興を願って務めさせていただきました。鎧は本当に重いんですが、それ以上に歴史の重さを感じました。日本の武道を世界に知ってもらうためにも、このような伝統文化をこれからも大事にしていきたいです。中学校では男女ともに武道が必修となつて十数年が経ち、女性の武道人口は増加しています。老若男女を問わず、武道を経験していただきたいです」

——2023年をどのような年にしたいですか。

「困難な時代ではありますが、日本には武道というしっかりとした軸がありますので、皆で稽古<sup>みな</sup>をしながら心身を錬成し、良き社会づくりのお

役に立てればと思っています。皆でがんばっていきましょう」

——稽古会参加者へメッセージをお願いします。

「相手を尊重しながら、礼に始まり礼に終わる武道の精神をしつかりと学んでください。そして、卯年<sup>うさぎ</sup>を飛躍の年として立派な人間になつていただきたいと思います」



真砂威  
全日本剣道連盟副会長

——副將軍を務め上げた感想をお願いします。

「古式の鎧装束に身を固め、由緒ある儀式に参加できたことに感謝申し上げます。身が引き締まる感じがするのと同時に鎧の重みを感じました。昔の武將はこんなに重い鎧を着て戦っていたのかと、先人の偉大さに改めて敬服しました」





弓 道



空手道



なぎなた



臼井日出男  
日本武道館理事長

# 模範演武



相 撲



剣 道



合気道



柔道



銃剣道



少林寺拳法

# 模範演武者

・弓道 佐竹明美範士八段、荒川博行範士八段、小林憲二範士八段  
相撲 舩田守八段、長内龍三段、井ノ上豪志三段、児玉亮三段、  
角田雄佑二段

・剣道 草間純市居合道範士

・空手道 喜友名諒公認四段、金城新公認四段、上村拓也公認四段  
なぎなた 葉山奈緒美教士、今浦千信教士

・柔道 菅麗子女子参段、中島恵女子参段

・銃剣道 山口あや子教士七段、菅野学教士七段、秋元陽樹教士七段、  
鈴木弥生教士七段、西村健一教士七段、佐藤岳鍊士七段、  
森川友紀子二段、今澤美紗貴二段

・合気道 藤巻宏七段、鈴木俊雄六段、小山雄二六段、日野皓正六段、  
里館潤五段、有馬隼人三段、深浦徹也三段

・少林寺拳法 川島佑斗大拳士五段、秋元宏介正拳士四段、鈴木敦賀二段、  
志村美空三段、立元日香里三段、谷藤遙五級、戸田唯葵五  
級、八本萌々子初段

## 東京五輪金メダリスト・喜友名諒が来館

一昨年の東京オリンピック大会の空手・男子形で金メダルを獲得した喜友名諒選手が、オリンピック以来1年7カ月ぶりに日本武道館に来館した。空手道の模範演武者として訪れた喜友名選手は、金城新、上村拓也の両選手と息の合った団体形を披露。迫力ある演武で会場を沸かせた。



北口玄関に掲げられた五輪銘板の前で功労章を受賞した師匠の佐久本嗣男氏（左）と



日本武道館発行の単行本

臨床心理学の立場から子どもを育む武道の可能性、教育力に迫る。  
子どもをより良く伸ばすための知恵と珠玉のことばが満載。

# 武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学名誉教授

菅野 かんの 純 じゅん 著



四六判・上製・408頁・定価2,640円

◎ご注文・お問い合わせ◎

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<https://www.nipponbudokan.or.jp>

武道始め



## 講道館 鏡開式

### 嘉納師範の遺訓を胸に普及・振興に尽力

講道館の鏡開式が1月8日、寛仁親王妃信子殿下のご臨席を賜り、講道館大道場で行われた。今年は新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて、一般参加者を受け入れて実施した。

式は午前10時に開会し、初めに講道館員を代表し、諸井三義九段が賀詞を述べた。

次に、上村春樹館長より年頭挨拶があった。「鏡開式は講道館が創始されて間もなく始まった、歴史と伝統のある講道館の重要な行事の一つです。新年を祝い、館員・修行者の安全と無病息災を願うのですが、この長引く3年にも及ぶコロナ禍の中で、柔道界だけでなく、スポーツ



年頭挨拶を述べる  
上村春樹館長

界、世界中が大変困難な状況にあります。我々はこのいう時だからこそできる、やらなきゃいけない修行があると考え進んできましたが、まだマスクも取れないような状況です。今年はコロナ禍の収束を願い、そして通常の稽古・大会の開催へと好循環ができるように頑張つてまいります。そのためには感染症対策を万全にして、柔道界が一丸となって取り組んでいかなければなりません。嘉納治五郎師範の遺訓を胸に、地道ながらも確実に精力善用・自他共栄の理念を実践して、柔道の普及・振興に当たっていかねばならないと思つていきます」

その後、7種の形の演技が披露され、全日本強化選手・コーチと修行者との乱取が行われた。

昇段発表証書授与では、上村館長から各段位昇段者の代表に証書が手渡され、千葉翠九段の発声で万歳三唱が行われて閉会となった。



太田彪雅選手（中央奥）による乱取稽古



千葉翠九段（左端）の発声で行われた万歳三唱

#### ■形演技者

- ◇投の形Ⅱ取・藤中拓馬五段、受・岩永憲門四段
- ◇固の形Ⅱ取・下野龍司五段、受・大館斗志爾五段
- ◇極の形Ⅱ取・向井幹博七段、受・有川勇貴六段
- ◇柔の形Ⅱ取・秋山日向子女子五段、受・中村美里女子六段
- ◇講道館護身術Ⅱ取・平野弘幸七段、受・大島修次七段
- ◇五の形Ⅱ取・眞喜志慶治七段、受・福地賢志郎七段
- ◇古式の形Ⅱ取・道場良久八段、受・大辻広文七段



古式の形





## 合気会 鏡開き式

# 稽古を大切に、飛躍の一年に

合気会の本部道場鏡開き式は1月8日、東京都新宿区の本部道場で開催された。新型コロナウイルス感染防止のため、参加者を推薦昇段者と、関係者に限定して開催した。

式は午後2時から開始。初めに植芝守央道主が年頭の挨拶に立ち、「コロナ禍によって3年間制約を受け、さまざまな困難がありました。その中でまだ限定的ではありますが、多くの方にお集まりいただいて、鏡開き式を開催できることを本当に嬉しく思っております。この3年の間、国内外の合気道の各道場が大変なことになっておりました。しかし、皆さまが今できることを精いっぱいや



年頭挨拶を述べる  
植芝守央合気道道主

るといふ気持ちを持って取り組んでこられたことに感謝を申し上げます。合気道は開祖である植芝盛平翁が創始され、その合気道を吉祥丸二代道主をはじめとする先達の方々が心血を注いで広げられました。それを今私どもが継承し、次の代へつないでいくことが役目だと思っております。私も日々の稽古を大切に、うさぎ年ですので、飛躍をする一年にしていきたいと思います。皆さまも飛躍ある一年となるよう、しっかりと稽古をしましょう」と述べた。次に山谷えり子参議院議員が来賓祝辞を述べた。

続いて植芝道主と植芝充央本部道場長による奉納演武が披露された。その後、推薦昇段者の発表と証書授与式が行われ、初段から七段までの各段昇段者の代表と八段昇段者に植芝道主より証書が授与された。最後に多田宏本部師範が挨拶を述べ、式は終了した。



昇段者に証書を授与する植芝守央道主（左）



植芝道主による奉納演武



植芝本部道場長による奉納演武



天皇盃・皇后盃

# 第50回全日本空手道選手権大会



形競技（男・女）

## 西山走（大分消防局）が悲願の初優勝 大野ひかる（大分消防局）が3連覇 史上初！夫婦で同時優勝

天皇盃・皇后盃第50回全日本空手道選手権大会（主催Ⅱ全日本空手道連盟）が昨年12月11日、日本武道館で開催され、男女による組手・形競技の個人戦が行われた。

男子形は西山走（九州）が初優勝、女子形は昨年8月に西山と結婚した大野ひかる（前年度優勝）が3連覇し、史上初の夫婦同時優勝を成し遂げた。

男子組手は崎山優成（前年度優勝）が芝本航矢（東京）を2―1で破り3連覇。女子組手は澤江優月（全学連）が嶋田さらら（全学連）を2―1で下して勝利し、2年ぶり2回目の優勝を果たした。

また、前日10日には団体戦が東京武道館で開催され、男子の部では香川県、女子の部では京都府が優勝した。

### 組手競技

試合は、全日本空手道連盟競技規定に則り、各都道府県ならびに競技団体から選出された代表選手、全空連推薦選手によるトーナメント方式





男子組手・決勝＝崎山（右）が上段突きで先制のポイントを得る

で行われた。試合時間は3分間で、8ポイントの差がついた時点で終了。同点の場合は先にポイントを獲得（先取）した方を勝者とし、先取がない場合は審判の旗判定により、勝敗を決した。

準決勝以上の試合では、技がポイントと認められなかった場合に監督の要求でビデオ判定を行う「ビデオレビュー（VR）」を採用した。

### ■男子（出場56名）

#### ▼準決勝①

崎山優成 1―1 嶋田力斗

#### （判定勝ち）

3連覇がかかる崎山（優）と体重別選手権の84キ級で優勝した嶋田の対戦。試合序盤、互いに技を繰り返すことができず、両者不活動の忠告。その後も様子をうかがう状況が続くと再び両者不活動となり、警告を受ける。試合が動いたのは残り時間20秒。崎山が上段突きで1ポイントを獲得して「先取」を獲得する。しかしその後、嶋田を掴む反則行為により、「先取」は取り消される。そして残り3秒、嶋田が上段突きで1ポイント

トを取り返し、1―1で試合終了。勝敗は判定に委ねられる。結果は崎山に旗5本が上がり、決勝進出を決めた。

#### ▼準決勝②

芝本航矢 4―0 崎山慶成

昨年3位の芝本と崎山優成の弟で近畿大3年の崎山（慶）の対決。開始50秒、芝本の上段蹴りが鮮やかに決まり、3ポイントを獲得。さらに芝本は上段突きを決め、4―0で試合終了。芝本が初の決勝に駒を進めた。

#### ▼決勝

崎山優成 2―1 芝本航矢

3連覇がかかる崎山と初優勝を目指す芝本の一戦。序盤、相手の出方をうかがう展開が続くが、開始1分25秒、崎山が上段突きを決めて先に1ポイントを獲得。取り返したい芝本は、残り40秒で上段突きを決めて1ポイントを奪い返す。しかし、残り14秒で崎山が上段突きを決めて2―1と再びリード。芝本も最後の猛攻に出るが決めることができず試合終了。崎山が3連覇を達成した。



女子組手・決勝＝澤江（右）が中段突きで2ポイント目を挙げて優勝

## ■女子（出場56名）

### ▼準決勝①

嶋田さらら 2―1 齊藤綾夏

全日本学生選手権2位の嶋田と前回大会の覇者、齊藤の一戦。開始26秒、両者とも技が出ず、不活動の忠告を受ける。その後、齊藤は出合いの中段突きを決めて先に1ポイントを奪う。

嶋田は残り1分19秒で落ちついて上段突きを決め、1ポイントを取り返す。さらに嶋田は残り40秒、前に出て突きを繰り出す齊藤にカウンターの1の上段突きを合わせて2―1と逆転。そのまま試合終了となり、嶋田が初の決勝へ進出した。

### ▼準決勝②

澤江優月 3―1 角豊実

本年度の学生チャンピオンで第48回大会覇者の澤江と近畿代表、角の一戦。試合は残り50秒で澤江が上段突きで1ポイントを取ると、残り43秒、上段突きで2ポイント目を奪う。さらに澤江が3ポイント目の上段突きを決めるが、角はVRを要

求。澤江の攻撃と同時に放った上段突きが認められて1ポイントを奪う。

しかし、その後は澤江がリードを守り切って試合は終了。澤江が2年ぶりの優勝を狙い決勝へ進出した。

### ▼決勝

澤江優月 2―1 嶋田さらら

決勝はともに千葉県出身の大学生同士の対戦。序盤は両者ともに相手の動きをうかがうが、開始から50秒、嶋田が上段突きを決めて先に1ポイントを奪う。

しかし残り1分13秒、澤江が上段突きで1ポイントを取り返して同点に。さらに残り13秒、澤江は得意の中段突きを決めて逆転。澤江はそのままリードを守り切って勝利し、2年ぶり2回目の優勝を果たした。





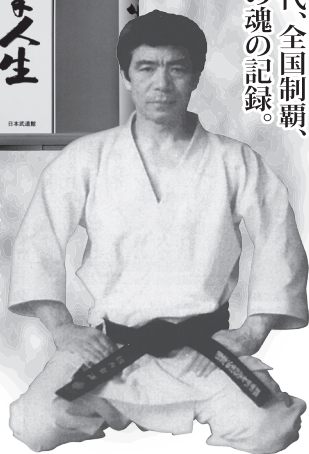
# 我空手人生

国際松濤館空手道連盟宗家

金澤弘和 著



四六判上製372頁  
定価2640円



生いたちから父母の教え、「からて」との出会い、拓殖大学空手部に始まる厳しい修行時代、全国制覇、海外への普及、国際松濤館設立、独自の空手理論構築まで、空手に生涯を懸けた男の魂の記録。

◎ご注文・お問い合わせ◎

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<https://www.nipponbudokan.or.jp>

## 前人未到の6連覇を目指す

男子組手優勝Ⅱ崎山優成選手



この1年は結果が出せず、足にけがもしており、社会人になって仕事との両立にも苦しみましたが、最後に3連覇という結果を残すことができ、すごく嬉しいです。職場の方々がけがをした際に支えてくれた人たちに恩返しできたかなと思います。

優勝すれば3連覇ということは頭にありました。意識はしていましたが、試合に臨む際はできるだけ忘れるようにして一つ一つの試合をこなすことを心がけました。また、足のけがのため、リスクを背負いながらの戦いとなりましたが、今回は上手く形を崩さずに戦うことができました。今後、けがが完治して使えるようになればさらに成長できると思います。この大会では5連覇が現在の最高記録なので、それを超える6連覇を目指して頑張りたいです。

## 昨年の悔しきバネに優勝

女子組手優勝Ⅱ澤江優月選手



2021年は準優勝で悔しい思いをしました。今回は必ずこの場所に戻ってくるという気持ちでやってきました。10月の全日本大学選手権で帝京大として優勝することができ、それに続いての優勝となり、とても嬉しいです。香川政夫師

範やコーチ、支えてくださった方に感謝を伝えたいです。自分の階級(68kg超)は層が厚く、強い先輩がたくさんいるので、その中でも自分の存在感を出せるように大会に挑みました。(2023年は)世界選手権とこの大会での連覇を目指して頑張りたいです。また、4月からは社会人となり、環境が変わるため、周囲の方々への感謝の気持ちを大切に一つ一つの試合をこなしていきたいと思っています。

## 形競技

予選ラウンドは選手を二つのプー

ルに分け、指定形を2回演武。各プー  
ールの上位4名がランキングラウン  
ド（計2プール）で得意形を演武。  
各プール1位の選手2名で決勝、プー  
ール2位の選手ともう一方のプー  
ール3位の選手で3位決定戦を行った。

### 男子（出場17名）

#### ▼3位決定戦

○岡本 ウンスー

26・58点

北澤 ゴジウシホシヨウ

24・72点

本（龍）ゴジウシホシヨウ

26・54点

○舟田 パーブルーレン

27・38点

岡本と北澤、舟田と本（龍）の組

み合わせ。結果は岡本と舟田が勝  
利。帝京大の2名が3位入賞を果た  
した。

#### ▼決勝

本（二）ウンスー

27・46点

○西山 スーパーリンペイ

28・74点

昨年2位の西山と3位の本（二）  
の対決。先攻の本はウンスーを演武。

スピードと流れに乗って一つ一つの  
技を決めていく。終盤の跳躍も高く  
びつたりと着地。会場からは技を決  
めるたびに自然と拍手が送られた。  
後攻の西山はスーパーリンペイを演  
武。スピードを保ちつつ淀みない滑  
らかな動きを見せる。迫力あふれる  
圧巻の出来で演武を終えた。結果は  
西山が1・28ポイント差で本（二）

を破って勝利。優勝が決した瞬間、  
西山は思わず涙ぐんでいた。

### 女子（出場16名）

#### ▼3位決定戦

○尾野 パーブルーレン

25・52点

宇都宮 チャタンヤラ・クーサンクー

24・48点

清水（那）チャタンヤラ・クーサンクー

24・08点

○清水（希）チャタンヤラ・クーサンクー

26・34点

尾野と宇都宮、清水（希）と清水

（那）の顔合わせ。昨年3位の尾野

は安定した演武で勝利し、本大会も  
3位を勝ち取った。東京五輪銀メダ  
リストの清水（希）はランキングラ  
ウンドでは大内に0・66の僅差で破  
れ悔しい結果に。それを晴らすべく  
3位決定戦では得意のチャタンヤ

ラ・クーサンクーを演武して3位に  
入った。

#### ▼決勝

○大野 スーパーリンペイ

27・60点

大内 パーブルーレン

26・60点

3連覇がかかる大野と清水（希）  
を破って勢いに乗る大内による前回  
大会と同じ対戦。先に演武したのは  
大野。予選から圧倒的な強さで勝ち  
上がってきた大野は得意のスーパー  
リンペイを演武。キレとスピードの  
メリハリだけでなく、重厚感のある  
形で会場を魅了する。対する大内は  
パーブルーレンを演武。堂々とした演  
武で前回よりレベルアップした形を  
見せた。結果は大野が1ポイント差  
で大内を下し、3連覇を達成した。



男子形・決勝＝西山のスーパーリンペイ



女子形・決勝＝大野のスーパーリンペイ



好評発売中!

# 空手道

その歴史と技法

小山 正辰 和田 光二 嘉手苅 徹 著

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、共同執筆で紐解く。空手の真髄に迫る白眉の二冊。



四六判・上製・568頁・定価2,640円

◎ ご注文・お問い合わせ ◎

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<https://www.nipponbudokan.or.jp>

## 憧れ続けた大会での初優勝

男子形優勝Ⅱ西山走選手



この大会は小さい頃からテレビで見続けてきた憧れの大会で、さらに節目の50回大会で優勝することができ、本当に嬉しく思っています。支えてくださった職場の方々に感謝の気持ちを伝えたいです。

(試合について) 今年は(東京五輪金メダリストの)喜友名諒選手が出演していなかったもので、絶対に優勝するという気持ちで臨みました。試合では一つ一つ、自分の最高の形をパフォーマンスすることができました。

(女子決勝で妻の大野選手が優勝した際は)胸が熱くなりました。自分はその後の決勝だったので、緊張よりも絶対に優勝するぞという強い気持ちに繋がりました。そのような意味でも今回は良い状態で決勝に臨めたと思います。

## 嬉しさ2倍の3連覇

女子形優勝Ⅱ大野ひかる選手



今回で3回目の優勝、さらに50回という節目の大会に出場でき、たくさんの応援・支援をしてくださった全ての皆様に感謝を伝えたいです。この大会は毎年特別な大会と思って稽古していますが、2023年には世界選手権大会もあるため、それに繋がられるような演武をしたいと思って挑みました。最後の演武は今年一番の演武ができたので、次に繋がったと思います。

(夫婦での優勝は)お互いあまり意識せず、最高のパフォーマンスをすることに目を向けていたため、それが結果に繋がったと思います。ただ、(夫も出場しており)緊張とプレッシャーは今回から倍になったので、その分、嬉しさも2倍になりました。これから2人で良いことも悪いこともしっかりと乗り越えていきたいです。

## 組手個人戦 男子

嶺山 優成 (前年度優勝) 3 芝本 航矢 (東京)  
 庄司 大樹 (群馬) 0 栗田 尊 (静岡)  
 平田 京 (福井) 8 山口 隼人 (埼玉)  
 大滝 隆成 (岐阜) 6 新井 蓮 (広島)  
 政岡 大雅 (宮崎) 0 加藤 拓 (秋田)  
 高野 龍成 (富山) 1 帖佐 太陽 (鹿児島)  
 足立 時嗣 (島根) 3 池田 刻斗 (大阪)  
 橋本 大夢 (兵庫) 1 片岡 光基 (高知)  
 山内健太郎 (全学連) 2 伊藤 隆介 (青森)  
 江藤 純哉 (大分) 5 西山 拓也 (新潟)  
 見田 尊 (北海道) 4 丸石 絢斗 (熊本)  
 小崎 友基 (佐賀) 4 0-2 宮崎 光 (千葉)  
 大浦 靖矢 (奈良) 0 1 0-3(判) 池澤 海 (全学連)  
 大竹 良介 (高体連) 0 1-5(判) 4 (KK) 三橋 龍斗 (徳島)  
 嶋田 力斗 (空空連推薦) 5 1-0 0 森 優太 (空空連推薦)  
 宮村 元也 (鳥取) 1 4 嶺山 慶成 (香川)  
 荒木 弘貴 (山梨) 9 2 北村 翼 (長崎)  
 亭嶋 飛龍 (茨城) 3 0 谷口 暁理 (和歌山)  
 村井慶太郎 (山形) 4 0 保坂 悠斗 (長野)  
 園田 雅人 (愛媛) 0 2 蜜口 光太 (滋賀)  
 榊原 十夢 (大阪) 1 2 北代 涼馬 (福岡)  
 千葉 良樹 (宮城) 0 1 松浦 司 (愛知)  
 安藤 大騎 (全実連) 1 0 島 隼人 (岩手)  
 伊藤 颯輝 (神奈川) 0 1 安里 寛龍 (沖縄)  
 中野壮一郎 (京都) 2 4 中村 恭平 (岡山)  
 片岡 大樹 (東京) 1 0 高山 凱登 (山口)  
 池田 蓮 (石川) 0 0 (KK) 富田 純也 (栃木)  
 中野 大輝 (三重) 1 (H) 鈴木 晃成 (福島)

先 = 先取ポイント  
判 = 旗判定 (左の数は本戦のポイント、  
右の数は旗の本数)

S = 失格  
K K = 棄権  
H = 反則



## 組手個人戦 女子

先 = 先取ポイント  
判 = 旗判定 (左の数は本戦のポイント、  
右の数は旗の本数)

S = 失格  
KK = 棄権  
H = 反則

形競技 男子 (★=上位進出者、○=勝者、×=敗者)

| 予選ラウンド2回目・プール2 |           |            |               |              |              |               |             |            |              | 予選ラウンド1回目・プール1 |             |              |              |               |               |             |             |              |              |
|----------------|-----------|------------|---------------|--------------|--------------|---------------|-------------|------------|--------------|----------------|-------------|--------------|--------------|---------------|---------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 西山 走 (九州地区)    | 幸司 (東北地区) | 在田 葵 (全学連) | 北澤 以進 (全空連推薦) | 池田 竜 (全空連推薦) | 佐藤 八海 (近畿地区) | 小崎 優輝 (北海道地区) | 黄木 勇人 (高体連) | 本 一将 (全実連) | 岡本 拳 (全空連推薦) | 本 龍二 (関東地区)    | 本 龍二 (関東地区) | 岡本 拳 (全空連推薦) | 年代 海里 (東海地区) | 神田 伊吹 (全空連推薦) | 加藤 大誠 (全空連推薦) | 野村 史 (中国地区) | 野村 史 (中国地区) | 大崎 太郎 (四国地区) | 大崎 太郎 (四国地区) |
| セーパイ           | セーパイ      | セーパイ       | セーパイ          | セーパイ         | セーパイ         | セーパイ          | セーパイ        | セーパイ       | セーパイ         | セーパイ           | セーパイ        | セーパイ         | セーパイ         | セーパイ          | セーパイ          | セーパイ        | セーパイ        | セーパイ         | セーパイ         |
| 26             | 24        | 24         | 24            | 23           | 22           | 21            | 21          | 26         | 25           | 25             | 26          | 26           | 24           | 24            | 22            | 21          | 21          | 24           | 24           |
| 50             | 87        | 84         | 59            | 39           | 77           | 51            | 13          | 51         | 07           | 04             | 26          | 26           | 22           | 22            | 18            | 18          | 18          | 28           | 28           |
| 1位             | 2位        | 3位         | 4位            | 5位           | 6位           | 7位            | 8位          | 1位         | 2位           | 3位             | 4位          | 5位           | 6位           | 7位            | 8位            | 9位          | 7位          | 6位           | 5位           |
| ★★★★           |           |            |               |              |              |               |             | ★★★★       |              |                |             |              |              |               |               |             |             |              |              |

形競技 女子 (★=上位進出者、○=勝者、×=敗者)

| 予選ラウンド2回目・プール2 |               |               |              |               |               |              |             |                |              | 予選ラウンド1回目・プール1 |               |              |            |                |                |             |               |               |              |
|----------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|--------------|-------------|----------------|--------------|----------------|---------------|--------------|------------|----------------|----------------|-------------|---------------|---------------|--------------|
| 大内 美里 (全学連)    | 清水 希容 (全空連推薦) | 宇都宮 優佳 (九州地区) | 森本 莉菜 (近畿地区) | 高田 あずさ (四国地区) | 中路 陽沙未 (東海地区) | 井上 優菜 (東北地区) | 山本 真由 (高体連) | 大野 ひかる (前年度優勝) | 尾野 真歩 (関東地区) | 宇海 水稀 (北信越地区)  | 清水 那月 (全空連推薦) | 三島 紗枝 (中国地区) | 平 紗枝 (全実連) | 加藤 くるみ (全空連推薦) | 森谷 心々菜 (北海道地区) | 大内 美里 (全学連) | 清水 希容 (全空連推薦) | 宇都宮 優佳 (九州地区) | 森本 莉菜 (近畿地区) |
| セーパイ           | セーパイ          | セーパイ          | セーパイ         | セーパイ          | セーパイ          | セーパイ         | セーパイ        | セーパイ           | セーパイ         | セーパイ           | セーパイ          | セーパイ         | セーパイ       | セーパイ           | セーパイ           | セーパイ        | セーパイ          | セーパイ          | セーパイ         |
| 25             | 25            | 24            | 23           | 21            | 21            | 20           | 20          | 26             | 25           | 24             | 24            | 23           | 22         | 21             | 21             | 25          | 25            | 24            | 24           |
| 97             | 35            | 24            | 38           | 79            | 35            | 79           | 79          | 91             | 47           | 64             | 56            | 78           | 95         | 68             | 68             | 80          | 42            | 80            | 80           |
| 1位             | 2位            | 3位            | 4位           | 5位            | 6位            | 7位           | 8位          | 1位             | 2位           | 3位             | 4位            | 5位           | 6位         | 7位             | 8位             | 1位          | 2位            | 3位            | 4位           |
| ★★★★           |               |               |              |               |               |              |             | ★★★★           |              |                |               |              |            |                |                |             |               |               |              |



# 全日本空手道選手権大会 団体組手競技 試合結果



男子団体組手優勝＝香川県

▼男子  
優勝Ⅱ香川県（崎山優成、西村悠朗、梶村幹人、岩本遼、稲垣博大、崎山慶成、阪井将太）  
準優勝Ⅱ東京都（水村春輝、阿部遥佑、田中颯大、鈴木健太、片岡大樹、田中隆、芝本航矢）  
3位Ⅱ神奈川県（森優太、小林宗和、高橋優斗、米原悠聖、三川弦大、伊藤颯輝、本村俊介）、山梨県（佐藤大斗、石田真郷、荒木弘貴、出羽遼太郎、田中我若、五十嵐剛生、五十嵐理希）



女子団体組手優勝＝京都府

▼女子  
優勝Ⅱ京都府（武田桜花、山本文香、大西照葉、小堂利奈）  
準優勝Ⅱ静岡県（岡崎愛佳、永井カンナ、斎藤綺良理、橋本鈴江）  
3位Ⅱ大阪府（藤田るり、大西風、野村怜菜、伊藤知紗）、北海道（久保田咲貴、相澤瑛恋、久保田真貴、後藤星奈）  
（写真提供・全日本空手道連盟）

|            |           |             |              |                 |           |
|------------|-----------|-------------|--------------|-----------------|-----------|
| ▽決勝戦       |           | ▽3位決定戦      |              | ▽ランキングラウンド・プール1 |           |
| 西山 一将（全実連） | 走（九州地区）   | 岡本 拳（全空連推薦） | 北澤 以進（全空連推薦） | 舟田 葵（全学連）       | 本 一将（全実連） |
| ウンスー       | スーパードリッペン | ウンスー        | ゴジュウシホシヨウ    | ゴジュウシホシヨウ       | ゴジュウシホシヨウ |
| 28 27      | 74 46     | 27 26       | 24 26        | 25 25           | 26 26     |
| 点          | 点         | 点           | 点            | 点               | 点         |
| ○          | ×         | ○           | ×            | ○               | ×         |

|              |            |             |             |                 |              |
|--------------|------------|-------------|-------------|-----------------|--------------|
| ▽決勝戦         |            | ▽3位決定戦      |             | ▽ランキングラウンド・プール2 |              |
| 大野ひかる（前年度優勝） | 大内美里沙（全学連） | 尾野 真歩（関東地区） | 宇都宮優佳（九州地区） | 清水 那月（全空連推薦）    | 大野ひかる（前年度優勝） |
| スーパードリッペン    | スーパードリッペン  | スーパードリッペン   | スーパードリッペン   | スーパードリッペン       | スーパードリッペン    |
| 26 27        | 60 60      | 26 24       | 24 25       | 24 24           | 25 26        |
| 点            | 点          | 点           | 点           | 点               | 点            |
| ×            | ○          | ○           | ×           | ×               | ○            |

男剣  
子道

な  
ぎ  
な  
た  
女  
子

犬伏未奈 (奈良大附属) が初優勝

佐野日大 (栃木) 2大会ぶりの優勝



なぎなた女子・決勝＝犬伏 (左) がスネを攻める

全国から選抜された高校生が各道で技を競う第39回若潮杯争奪武道大会 (主催Ⅱ日本武道館、国際武道大学) が昨年12月26・27日、国際武道大学 (千葉県勝浦市) で開催された。本大会は新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となった。なお、感染症拡大防止のため柔道は今回も実施を見送った。

大会は初日に剣道、2日目になぎなたの競技が行われた。



■剣道の部 (男女各24チーム出場)  
試合は男女とも5人制の団体戦。トーナメント方式で競った。

男子決勝は、佐野日大 (栃木) と本庄第一 (埼玉) が対戦。先鋒戦は佐野日大の一本勝ち。次鋒、中堅戦は引き分けとなる。副将戦は佐野日大・森屋が小手と面を決め、この時点で2-0となり佐野日大が優勝を決めた。大将戦も佐野日大・濱田が小手を決めて一本勝ち。3-0で勝ち、2大会ぶりの優勝を決めた。

女子決勝は、第33回覇者の筑紫台 (福岡) 対東奥義塾 (青森)。本戦では2-2と決着がつかず代表戦へ。代表者戦では筑紫台・水野が面を決

めて勝利し、4大会ぶりの優勝を果たした。

■なぎなたの部

(男子24名、女子48名出場)  
個人戦。3人一組のリーグ戦を行い、各リーグ1位が決勝トーナメントに進んだ。

男子決勝は、瀬長拓夢 (沖縄・知念) が高橋祥世 (福島・会津学鳳) にスネを決めて一本勝ちし、優勝を決めた。

女子は、犬伏未奈 (奈良大附属) が蛭間梓 (東京・都立城東) にスネで一本勝ちし、初優勝を果たした。

【大会結果】

■剣道

▼男子Ⅱ①佐野日大 (栃木) ②本庄第一 (埼玉) ③育英 (兵庫)、九州学院 (熊本)

▼女子Ⅱ①筑紫台 (福岡) ②東奥義塾 (青森) ③島原 (長崎)、奈良大附 (奈良)

■なぎなた

▼男子Ⅱ①瀬長拓夢 (知念) ②高橋祥世 (会津学鳳) ③岩崎耀彦 (神奈川大附)、高田瞬 (山梨・甲府昭和)

▼女子Ⅱ①犬伏未奈 (奈良大附) ②蛭間梓 (都立城東) ③下田一葉 (東京・南多摩中等教育)、片山深桜 (都立城東)

日本武道館発行の単行本

解説DVD付属!

香川大学副学長・教授  
医学博士、剣道教士八段

山神眞一 著

# 役に立つ少年剣道指導法

現代の少年剣道が抱える様々な問題点に  
対して、長年教育現場で培った筆者の視  
点から解決の糸口を探っていく。



A5判・並製・256頁・DVD付  
定価2,640円

◎ご注文・お問い合わせ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<https://www.nipponbudokan.or.jp>



剣道男子優勝＝佐野日大（栃木）



剣道女子優勝＝筑紫台（福岡）



なぎなた男子の上位入賞者（左から高田、瀬長、高橋、岩崎）



なぎなた女子の上位入賞者（左から下田、犬伏、蛭間、片山）